

## ポータブルヘッドホンアンプ

取扱説明書

Made for  
iPod iPhone iPad

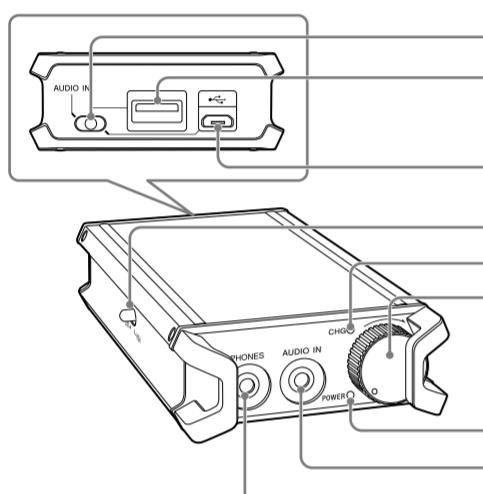
\* 4 4 4 3 6 9 3 0 1 \* (3)

PHA-1

## 主な特長

- 高品質アナログ回路とデジタル回路を搭載することにより、高い解像度や広いダイナミックレンジ、高音質化を実現しました。ソニーのヘッドホンのボテンシャルを最大限に発揮させるポータブルヘッドホンアンプです。
- iPod/iPhone/iPadなどのオーディオデータをデジタルのまま受けとり、内部の高品位なDAコンバーターでアナログ変換することにより、原音に忠実で自然な高音質を実現しました。
- USB Audio対応(96 kHz/24 bit)  
非同期方式(Asynchronous)を採用。PC側のジッターから分離された高精度なクロックによる、正確なD/A変換を実現しました。96 kHz/24 bitのフォーマットに対応する\*ことにより、それら高音質コンテンツの実力をあますことなく再現します。  
\* OSによっては対応しておりません。

## 各部の名前



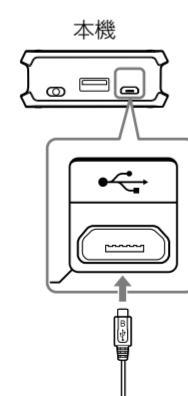
- 1** 入力切換スイッチ  
**2** iPod/iPhone/iPad接続端子  
**3** ⇧(USB)端子  
**4** GAIN(ゲイン)スイッチ  
詳しくは「音楽を聞く」の「ヘッドホンに合わせてGAINを調節するには」を確認ください。  
**5** CHG(充電)ランプ(赤)  
充電中に点灯します。  
**6** 電源／音量つまみ  
右へ回すと電源が入り、さらに回すと音量が上がります。  
左へカチッと音がするまで回すと、電源が切れます。  
**7** POWER(電源)ランプ  
電源が入ると点灯します。通常は緑色、電池が消耗するとオレンジ色に点灯します。  
**8** AUDIO IN端子  
**9** PHONES(ヘッドホン)端子

## はじめに充電する

本機は充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。充電してからお使いください。充電中はCHGランプ(赤)が点灯し充電後に消灯します。充電時間は約4.5時間です。

## 1 本機の電源を切る。

## 2 付属のマイクロUSBケーブルで、起動しているPCと本機をつなぐ。



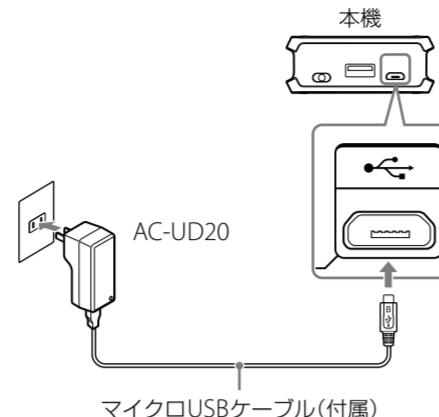
## ご注意

- 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しないでください。
- 本機を初めてPCにつないだときは、本機が有効なUSBデバイスとして認識されるまでに多少の時間がかかります。
- 本機を長期間お使いにならなかったとき、PCにつないで充電しても、本機のCHGランプ(赤)がすぐに点灯しないことがあります。本機からマイクロUSBケーブルをはずさず、CHGランプ(赤)が点灯するまでしばらくお待ちください。
- 本機の電源が入っているときは充電は開始しません。また、充電中に本機の電源を入れると充電は終了します。
- 周囲の温度が5°C~35°Cの環境で充電してください。この範囲の外で充電すると、CHGランプ(赤)が点滅し、充電できないことがあります。
- 本機とPCをつないでいる間にPCが省電力モードになると、正しく充電されません。つなぐ前にPCの設定を確認してください。PCが省電力モードになるとCHGランプ(赤)は自動的に消灯します。この場合は、充電をやり直してください。
- 本機とPCは必ず直接つないでください。USBハブなどを経由して接続すると、正しく充電されないことがあります。
- 本機が充分に充電されていると、CHGランプ(赤)が点灯しないことがあります。
- 充電完了時にCHG(赤)ランプが点滅することがあります。故障ではありません。

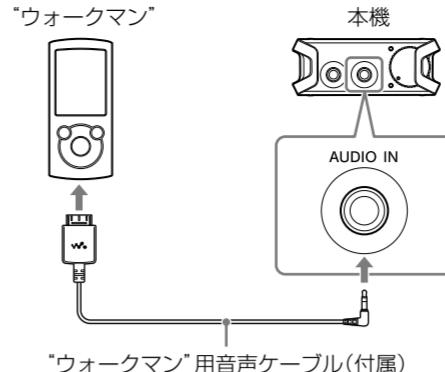
- 長期にわたって保管する場合は、高温の場所は避けて保管してください。また、1年以上の長期にわたって保管する場合は、充電池の過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。

## 電源コンセントから充電するには

USB ACアダプター AC-UD20(別売)をお使いください。詳しくは、USB ACアダプターに付属の取扱説明書をお読みください。



- 1 本機のAUDIO IN端子に付属の専用ケーブルを使い、「ウォークマン」をつなぐ。



## 2 入力切換スイッチを「AUDIO IN」にする。

## 3 つないだ「ウォークマン」の電源を入れる。

## 対応「ウォークマン」

WM-PORT(22ピン)搭載の「ウォークマン」でご利用できます。WM-PORTは、「ウォークマン」とアクセサリーを接続する専用マルチ端子です。

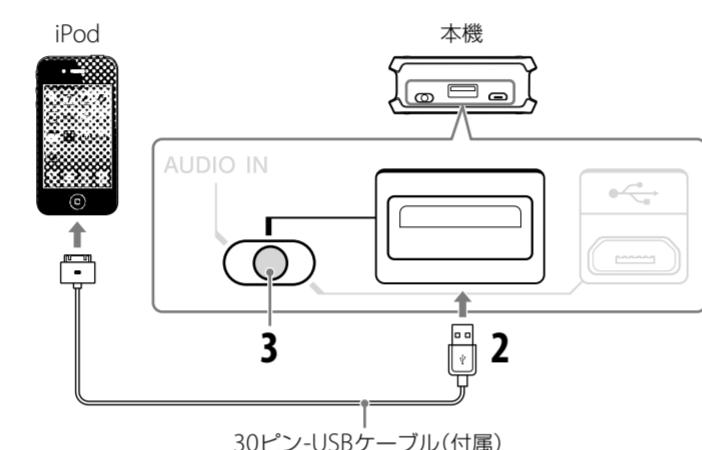
## ご注意

- 本機は「ウォークマン」の音声再生機能のみに対応しています。
- 「ウォークマン」は電源を入れないと動作しません。操作する前に「ウォークマン」の電源を入れてください。
- WM-PORT(22ピン)を搭載していない「ウォークマン」を接続する場合は、「その他の機器」に記載の方法で接続してください。
- ソニーは本機に接続した「ウォークマン」に記録されたデータの破壊や損失について、責任を負いません。
- 対応している「ウォークマン」でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- 本機につないだ「ウォークマン」は充電されません。
- ご使用の「ウォークマン」によっては、ダイナミックノーマライザ、イコライザ、VPT、DSEE、スピーカー出力最適化などがオートまたは調整されている場合がありますので、音がひずむときはそれらの機能をオフにしてください。
- \*「ウォークマン」接続中は、「ウォークマン」のヘッドホン端子からは音は出ません。
- \*「ウォークマン」接続中は、「ウォークマン」の音量調節はできません。

## オーディオ機器を接続する

## iPod

対応する機種については「対応iPod/iPhone/iPad」をご覧ください。特別な場合を除き、この取扱説明書ではiPod、iPhoneおよびiPadの総称として「iPod」と記載しています。



## 1 iPodの電源を入れる。

## 2 本機のiPod/iPhone/iPad接続端子に付属の専用ケーブルを使い、iPodをつなぐ。

## 3 入力切換スイッチを中央の位置にする。

## 対応iPod/iPhone/iPad

対応機種は以下のとおりです。本機につないで使用する前にiPodを最新のソフトウェアにアップデートしてください。

- iPod touch(第4世代)
  - iPod touch(第3世代)
  - iPod touch(第2世代)
  - iPod nano(第6世代)
  - iPod nano(第5世代)
  - iPod nano(第4世代)
  - iPod nano(第3世代)
  - iPod classic 160GB / 160GB (2009)
  - iPod classic 160GB (2007)
  - iPod classic 80GB
  - iPhone 4S
  - iPhone 4
  - iPhone 3GS
  - iPhone 3G
  - iPad(第3世代)
  - iPad 2
  - iPad
- ※2012年7月現在

## ご注意

- PC、または推奨のUSB ACアダプターとつないで使用しているときでも、大音量で聞いているときは電池が消耗する場合があります。
- 本機はiPodの音声再生機能のみに対応しています。
- 本機からiPodに曲を転送することはできません。
- 対応していないiPodを本機に接続しないでください。本機に対応していないiPodを使用した際の動作は保証しておりません。
- 本機につないだiPodを使用中にiPodに保存されたデータが消失、破損しても、弊社では一切の責任を負いません。
- 操作中にiPodを取りはずさないでください。データが破損するのを防ぐために、iPodを接続または取りはずすときは、音楽を停止した後、本機の電源を切ってください。
- 本機につないだiPodは充電されません。
- 音がひずむときは、iPodのイコライザを「Off」または「Flat」に設定してください。
- iPod touchやiPhoneは電源を入れないと動作しません。接続および操作をする前にiPod touchやiPhoneの電源を入れてください。
- 接続したiPodによっては音量を調節すると突然大きな音が出ることがあります。
- iPodの電池残量が非常に少ない場合は、充電してからお使いください。
- iPhoneの着信音やアプリケーションによっては音楽の音量と異なる場合があります。お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- iPhoneがマナーモードに設定されているときは、着信音が聞こえない場合があります。
- アップルのホームページでiPod操作環境条件の詳細をご確認ください。
- 電池が消耗していると、PC、推奨USB ACアダプターに接続しても本機の電源が入らないことがあります。そのような場合は本機を充電してからお使いください。充電方法は「はじめに充電する」をご覧ください。

## 「ウォークマン」

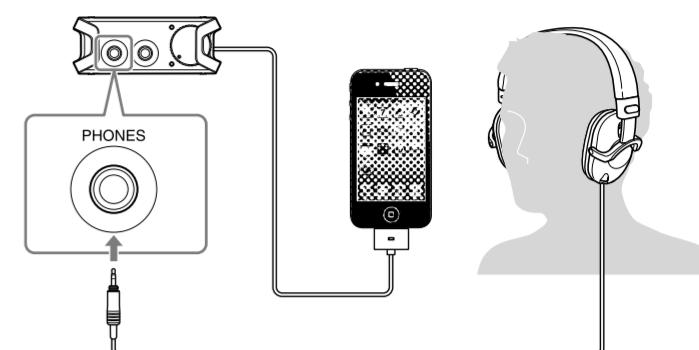
「ウォークマン」用音声ケーブル(付属)を使って接続すると、「ウォークマン」内部のアンプを経由せず、本機で直接信号を増幅させることができます。

## 3 つないだ機器の電源を入れる。

## ご注意

- ラジオまたはTVチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオやTV放送の受信ができなくなったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- ラジオなどを聞いてるときにノイズが入る場合は、接続している機器と本機を離してご使用ください。
- PC、または推奨のUSB ACアダプターとつないで使用しているときでも、大音量で聞いているときは電池が消耗する場合があります。
- 電池が消耗していると、PC、推奨USB ACアダプターに接続しても本機の電源が入らないことがあります。そのような場合は本機を充電してからお使いください。充電方法は「はじめに充電する」をご覧ください。

## 音楽を聞く



## 1 本機とヘッドホンを接続する。

## ご注意

- ヘッドホンのステレオミニプラグを接続してください。
- 本機は、モノラル、リモコン付きヘッドホンまたはマイク付きヘッドセットなどのプラグには対応していません。故障の原因となりますので、接続しないでください。

## 2 オーディオ機器を接続する。

「オーディオ機器を接続する」の手順に従って接続してください。

## 3 電源／音量つまみを右へ回して本機の電源を入れる。

POWER(電源)ランプが点灯します。さらに回すと音量が上がります。POWER(電源)ランプは電源が入ると点灯します。通常は緑色、電池が消耗するとオレンジ色に点灯します。

## ご注意

- 本機を初めてPCにつないだときは、本機が有効なUSBデバイスとして認識されるまでに多少の時間がかかります。

## 4 接続した機器を再生する。

## 5 音量を調節する。

本機の電源／音量つまみを右へ回して調節します。接続するヘッドホンによっては、電源／音量つまみを回しても音量が小さい場合があります。

音量が足りない時は、本機の電源を切った後にGAINスイッチを「HIGH」に切り換えてください。通常は「LOW」でお使いください。「ヘッドホンに合わせてGAINを調節するには」を参照してGAINスイッチで調節してください。

## ♪ヒント

- スマートフォンや携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの機器を接続する場合は、接続する機器の音量をあらかじめ調節してください。また、機器によっては出力先の設定が必要な場合があります。

## ヘッドホンに合わせてGAINを調節するには

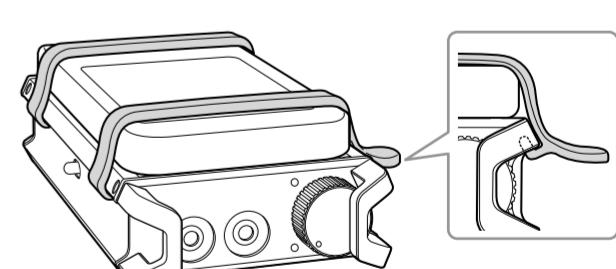
接続するヘッドホンに合わせてGAINを調整できます(初期設定:LOW)。GAINスイッチを切り換えるときは、本機の電源を切った後、GAINスイッチを「HIGH」にしてください。

## オーディオ機器と本機を固定する

付属のシリコンベルトを使い、本機と接続した機器を固定することができます。

## シリコンベルトの使いかた

接続した機器を本機に載せ、シリコンベルトの両端を本機の溝に引っ掛けください(シリコンベルトは4本付属)。



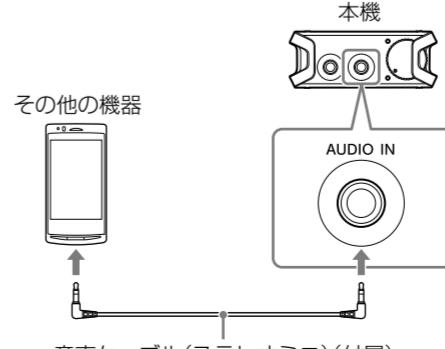
## ♪ヒント

- オーディオ機器が本機のゴム製レールに乗らない場合は、付属のシートを挟んで使うと傷つきを低減することができます。

## ご注意

- シリコンベルト使用中に生じたオーディオ機器の破損について、弊社では責任を負いません。
- シリコンベルトはすべてのオーディオ機器を固定することを保証するものではありません。

## 1 本機のAUDIO IN端子に付属の専用ケーブルを使い、機器をつなぐ。



## 2 入力切換スイッチを「AUDIO IN」にする。

## 安全に関するお知らせ

**△警告** 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## △警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る  
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- 定期的に点検する  
1年に1度は、ほこりがたまっているいか、故障したまま使用していないいかなどを点検してください。
- 故障したら使わない  
動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。
- 万一、異常が起きたら  
変な音・においがしたら、煙が出たら

- ↓
- ① 電源を切る
  - ② 充電中の場合は本機をパソコンなどからはずす
  - ③ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**△危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

**△警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

**△注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。



**△危険** 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡や大けが**の原因となります。

**○付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない**  
充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

**○推奨以外のUSB ACアダプターを使わない**  
USB ACアダプターを用いて充電するときは、必ず推奨のAC-UD20(別売)を使用してください。

**○火の中に入れない**  
分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

**○火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない**

**△警告** 下記の注意を守らないと、**火災・発熱・発火・感電**により**やけどや大けが**の原因となります。

**○道路交通法に従って安全運転する**  
運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。

• 運転中は使用しない。  
• 運転中に携帯電話の画面を注視しない。  
• 運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえない危険な場所では本機を使わないでください。

**○内部に水や異物を入れない**  
本機は防水仕様ではありません。  
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

**○本体を布団などでおおった状態で使わない**  
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

**△注意** 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

**○大音量で長時間続けて聞きすぎない**  
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

**○はじめから音量を上げすぎない**  
突然大きな音が出て耳をいためることができます。音量は徐々に上げましょう。

**○通電中の製品に長時間ふれない**  
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

**○本機をズボンなどの後のポケットに入れて座らない**  
変形や故障の原因となることがあります。

## 電池についての安全上の注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

### △危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない  
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。  
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。  
液が身体や衣服についたときは、やけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

### △危険 充電式電池について

- 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 液漏れした電池は使わない。

### 本機を廃棄するときのご注意

本機に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

### 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、再度の点検と、ホームページのサポート情報を確認してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

#### 音が出ない

- 本機とオーディオ機器との接続を確認する。
- 接続した機器の電源が入っているか確認する。
- 本機の電源を入れる。
- 入力切換スイッチの位置を確認し、オーディオ機器を接続した位置にする。
- 接続した機器の音量を上げる。
- 本機の音量を上げる。
- POWER(電源)ランプが点灯しない場合は充電する。
- 本機とヘッドホンのプラグをしっかりと接続する。
- モノラルのヘッドホンをつないでいる。  
モノラルのヘッドホンには対応しておりません。故障の原因となりますので、接続しないでください。
- PCに接続したとき音が出ない、正常に再生できない
- PCまたはお使いのソフトウェアの音量を上げる。
- 音楽再生ソフトなどの利用中に本機を接続した。  
音楽再生ソフトなどを起動します。
- 音楽再生ソフトなどで再生中にPCがスタンバイ(スリープ)、休止状態になった。  
音楽再生ソフトなどを起動します。
- PCのサウンドデバイスを正しく設定する。

#### Windows 7/Windows Vista

スタートメニュー→コントロールパネル→ハードウェアとサウンド→サウンド→再生タブを選択→再生デバイスからPHA-1を選択して既定値に設定をクリック

#### Windows XP

スタートメニュー→コントロールパネル→サウンド、音声、およびオーディオデバイス→サウンドとオーディオデバイス→オーディオタブを選択→音の再生の既定のデバイスからPHA-1を選択

#### Macintosh

Appleメニュー→システム環境設定→サウンド→出力タブを選択→サウンドを出力する装置の選択からPHA-1を選択

- PCのボリュームコントロールまたは音楽再生ソフトウェアなどがミューティング(消音)になっている。  
ミューティング(消音)を解除する。
- 本機がUSB機器としてPCに認識されていない。  
PCを再起動する。
- デジタル再生機能に対応していないCD-ROMドライブを使用している。  
デジタル再生機能に対応したCD-ROMドライブを使う。
- デジタル放送の音声を聞こうとしている。  
デジタル放送の音声はPCのUSB端子から出力されません。PCのアナログ音声出力から本機のAUDIO IN端子に接続してください。

#### 音が小さい

- 接続した機器の音量を上げる。
- 本機の音量を上げる。
- インピーダンスが高いヘッドホンを使うときは、GAINを「HIGH」にする。
- ステレオミニプラグのヘッドホンを使う。

本機はステレオミニプラグのヘッドホンに対応しています。リモコンやマイクが付いたヘッドホン／ヘッドセットを使うと、音が小さかったり音が出なくなったりします。

#### 電源が入らない

- 本機を充電する。
- 電池持続時間が通常の半分程度まで低下したときは、充電池の寿命と考えられます。充電池の交換についてはお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

#### 音がひずむ

- AUDIO IN端子にオーディオ機器を接続したとき、接続した機器の音量を下げる。
- 接続した機器のイコライザなどの設定をOFFにする。
- 本機を充電する。

#### 充電できない

- 本機とPCが付属のマイクロUSBケーブルでしっかりと接続されているか確認する。
- PCの電源が入っているか、スタンバイ(スリープ)、休止状態に入っていないか確認する。
- 本機とPCがUSBハブなどを経由せずに直接つながっているか確認する。
- 上記に当てはまらない場合は、USB接続を直す。
- 接続しているPCのUSB端子に問題がある可能性があるので、PCに別のUSB端子があれば、そのUSB端子に接続し直す。
- 推奨外のUSB ACアダプターを使用している。
- 本機の電源が入っている。

→ 推奨外の給電については対応できません。

→ 本機が満充電。

満充電のときは、本機のCHGランプ(赤)が一瞬光ってすぐに消灯し、充電しないことがあります。故障ではありません。「はじめに充電する」をご覧ください。

→ 本機を長期間お使いにならなかったとき、PCにつないで充電しても、本機のCHGランプ(赤)がすぐに点灯しないことがあります。本機からマイクロUSBケーブルをはずすと、CHGランプ(赤)が点灯するまでしばらくお待ちください。

#### 充電時間が長い

- 本機とPCがUSBハブなどを経由せずに直接つながっているか確認する。
- 付属以外のケーブルで充電している。
- 推奨外のACアダプターで充電している。

#### 雑音が多い

- AUDIO IN端子にオーディオ機器を接続したとき、接続した機器の音量を調節し、本機の音量を上げる。

→ 本機をPCから離す。

→ 音楽再生ソフトを起動します。

→ 接続したオーディオ機器の電源を入れ直す。

→ PCに接続したとき、音が途切れます。

→ PCのCPU負荷が大きい。

→ PCの不要なアプリケーションを終了する。

→ 同時にほかのUSB機器を使用している。

→ ほかのUSB機器の使用を停止する。

→ リモコン付きヘッドセットのリモコンが使えない

→ 本機はリモコンに対応しておりません。

→ ヘッドセットのマイクが使えない

→ 本機はマイクに対応しておりません。

→ 接続しているラジオ、TVなどが受信できない、ノイズが入る

→ 接続している機器と本機を離す。

→ 接続している機器と本機を離す。